

令和元年度 第3回 大垣市スポーツ推進審議会

～健康で魅力ある生涯スポーツ社会の実現～

【令和元年 10 月 24 日】

目 次

令和元年・2年度 スポーツ推進審議会委員等名簿 1

議事(1)資料

大垣市第2次教育振興基本計画（スポーツ分野）の策定について . . . 2

第6節 スポーツ分野

スポーツは体力向上や健康づくりにつながるだけでなく、人や地域の交流を促進し、明るく豊かで活力に満ちた社会を築くために重要な役割を果たしています。

市民が生涯にわたってスポーツに親しみ、スポーツを楽しみ、好きになる「スポーツの都市（まち）“OGAKI”」の実現に向けて、スポーツを「する」「みる」「支える」ことで人生を豊かに過ごし、いきいきと活動できる「人づくり」をめざします。

1 基本目標と基本施策

基本目標1	スポーツ活動を充実し、夢や目標に向かって挑戦する人づくりをめざします
-------	------------------------------------

スポーツを通して、自分の夢や目標をもち、それに向かって努力し挑戦することは、健全な身体や精神を養う上で重要な役割を果たします。

特に、トップアスリートのパフォーマンスは、みる者に夢や感動を与える力があり、憧れをもった子どもは、将来自分もそんな選手になりたいと、新たな夢や目標をもつことができます。

少年期のスポーツ活動の充実や競技団体の活動支援、国際大会や全国大会で活躍できる選手の育成を支援することで、目標の実現に向けて挑戦できる人づくりをめざします。

基本施策

取組	内容
(1) 子どものスポーツ活動のきっかけづくり	幼児を含む子どもを対象に、身体を動かす遊びの場として、（公財）大垣市体育連盟が実施する「キッズスポーツ教室」を支援することや、保護者を巻き込んだ活動を展開することで、スポーツが好きな子どもたちを育成し、生涯にわたってスポーツに親しむ素地づくりを進めます。
(2) 少年期のスポーツ活動の充実	スポーツをすることが好きな子どもの増加を図るため、少年期のスポーツ団体の活動を広く周知するなど、スポーツ少年団をはじめ、スポーツ団体への加入を促進します。 また、広報誌等を通して子どもがスポーツに取り組むことの大切さについて地域や保護者の理解を深めるとともに、幼少期から少年期までのスポーツ活動の在り方について検討します。

(3) 選手の育成・支援	(公財)大垣市体育連盟や競技団体等と連携し、国民体育大会や全国・国際大会等において好成績を収める選手の育成と支援に努めます。
(4) 競技団体の活動支援	競技力の向上や競技種目の普及のため、選手の強化や各種競技大会への参加促進に努める競技団体の活動を支援します。

基本目標 2	スポーツを通じた交流の場を提供し、互いに認め合う、心豊かな人づくりをめざします
---------------	--

スポーツ活動には、コミュニケーション能力や相手を思いやる気持ちなど心の成長に大きく寄与する力や、国や民族を越えて人とのつながりを育む力があります。

そのためには、保護者や指導者なども多様性を理解し一人一人の人格を尊重しながらスポーツを支え指導していく必要があります。

さらに、スポーツには「する」だけでなく「みる」「支える」など、様々な形態に関わることができます。現状よりさらに多くの人々が積極的にスポーツに参画し、様々な交流を通してスポーツの魅力を再発見できる環境を整え、心豊かな人づくりをめざします。

基本施策

取組	内容
(1) スポーツを支える担い手づくり	人間の尊厳や人との絆を、スポーツを通して正しく指導できる指導者の育成と確保を図るため、日本スポーツ協会公認指導者資格等の取得を推進するとともに、講習会や研修会を開催します。 また、学校と地域が協働・融合した、中学校部活動の在り方を検討します。
(2) スポーツ交流の実施	見聞を深めグローバルな視点を持ち、多様性を尊重し思いやりのある心豊かな人づくりを実現するために、フレンドリーシティとのスポーツ交流や、青少年・指導者受入・派遣事業などを継続します。 また、国内においても、他都市とのスポーツ交流の実施について検討します。
(3) 競技団体による競技大会開催等への支援	市民のスポーツ参加の誘発や普及・振興、スポーツの魅力の再発見を促すとともにスポーツへの関心を高めるため、競技団体による競技大会や、県民スポーツ大会への参加を支援します。

基本目標 3	地域に根ざしたスポーツ活動を推進し、郷土愛のある人づくりをめざします
---------------	---

スポーツには、人と人とのつながりを築き深める力があります。地域スポーツへの参加を促進することでコミュニティの交流を深め、地域に関わりをもてる人づくりをめざします。

また、大垣ゆかりの選手の活躍が、市民のスポーツへの関心を高め地域スポーツの活性化に大きな影響を与えるとともに、ふるさと大垣に誇りと愛着をもてる人づくりにつなげます。

基本施策

取 組	内 容
(1) 地域スポーツ活動への支援	子どもから高齢者まで生涯にわたってスポーツに親しむことのできる環境の整備を図り、体育振興会等が主催する地域の大会や、スポーツ推進委員会を中心とした軽スポーツ大会やヘルシーウォークの開催を支援します。
(2) 関係団体との連携充実	(公財)大垣市体育連盟をはじめ、体育振興会やスポーツ少年団、各競技団体等と更なる連携を図り、誰もがスポーツを気軽に楽しめる環境づくりを進めます。 また、各団体の成果や課題を共有し、大垣のスポーツ活動がより充実するよう、意見交流会や講演会等の開催を支援します。
(3) 広報活動の充実	大垣のスポーツ活動を応援する気持ちが高まるよう、地元企業や各学校の選手の活躍など、情報発信に努めます。

基本目標 4	スポーツができる環境を整備し、生涯いきいきとスポーツする健康な人づくりをめざします
---------------	--

スポーツは私たち人類が生み出した貴重な文化であり、人々が運動の喜びを分かち合い、感動を共有し、絆を深める力があります。

暮らしの中で誰もが身近にスポーツに親しめる機会を提供し、市民の健康づくりや生きがいづくりにつなげます。

また、市民が気軽に、安全で安心して、スポーツを楽しむことができる快適なスポーツ施設の整備と利便性の向上に取り組みます。

基本施策

取 組	内 容
(1) スポーツの楽しさを知る機会の提供	体を動かすことの楽しさを知ってもらうとともに、スポーツ観戦や選手との触れ合いにより、スポーツの魅力を実感できるよう、スポーツ推進委員協議会による軽スポーツ体験イベントや、トップアスリートによる子どもへの支援を実施します。
(2) 誰もがスポーツに参加できる機会づくり	市民総合体育大会や市独自のスポーツイベントを充実させ、スポーツに参加する機会づくりを推進します。
(3) スポーツ習慣の継続と定着	(公財)大垣市体育連盟が実施するスポーツ教室を中心に、二丁にあつた各種スポーツ教室を充実させ、継続的なスポーツの実施により、市民の健康づくりを推進します。
(4) 高齢者や障がいのある人のスポーツ活動の普及	スポーツ推進委員協議会やレクリエーション協会と連携し、年齢、性別、障がいの有無などに関わらず、誰もが気軽に楽しみながら行うことのできるレクリエーションスポーツを普及します。
(5) 体育施設の整備・充実	市民が安全で安心してスポーツに取り組めるよう、体育施設の整備や競技備品の充実に努めます。 また、市民の高まる運動ニーズに応えられるよう、既存の施設の在り方を踏まえた総合的な視点から、新たなスポーツ施設の建設について検討します。

2 指標と目標値

スポーツ分野の施策の着実な推進を確認するための指標として、目標を設定します。

No	基本目標	指標名(単位)	基準値 (H30年度)	目標値 (R6年度)
1	スポーツ活動を充実し、夢や目標に向かって挑戦する人づくりをめざします	小中学生スポーツ活動実施率	62.1%	65.0%
		全国・国際大会等への出場者数	個人 267 人 団体 48 団体 計 315	個人 270 人 団体 50 団体 計 320
2	スポーツを通じた交流の場を提供し、互いに認め合う、心豊かな人づくりをめざします	日本スポーツ協会公認指導者新資格の登録者数	- 人	200 人
		県民スポーツ大会での総合優勝の継続	1 位	1 位
3	地域に根ざしたスポーツ活動を推進し、郷土愛のある人づくりをめざします	コミュニティスポーツ参加者数	12,781 人	13,200 人
		意識的に運動(週1回以上)している人の割合	41.6%	48.0%
4	スポーツができる環境を整備し、生涯いきいきとスポーツする健康な人づくりをめざします	スポーツ教室への参加者数	5,186 人	5,300 人
		体育施設の利用者数(学校体育施設を含む)	1,399,410 人	1,435,500 人

※「日本スポーツ協会公認指導者新資格の登録者数」について

日本スポーツ協会公認の新しい資格であり、取得のための研修会は令和2年度からはじまる。令和5年度までの移行措置を経て、令和6年度には完全実施となる。スポーツ少年団一単位団に2名以上の新資格取得者が必要であり、全単位団においての資格取得をめざすもの。

※「県民スポーツ大会での総合優勝の継続」について、自己評価は以下の通りとする。

A：1位、B：2位、C：3位、D：4位以下